

平成26年度 第1回尾張旭市介護保険運営協議会会議録

- 1 開催日時
平成26年6月30日(月)
開会 午後1時30分
閉会 午後3時
- 2 開催場所
市役所 2階 201会議室
- 3 出席委員
田口良子、河合徹也、森下敏光、丹羽松弘、若杉致由、玉置久美子、
富田恭子、堀 正治、大橋勝人、川口俊一、大塚宏子、椿山岳史、倉田雅生、
瀧山由美(以上14名)
- 4 欠席委員
上田智子(以上1名)
- 5 傍聴者数 2名
- 6 出席した事務局職員
若杉浩二(健康福祉部長)、吉田和仁(健康福祉部次長)、滝本弘一(長寿課長)、
江尻 毅(地域包括支援センター所長)、佐藤悦生(長寿課長補佐兼長寿支援係長)、
西尾哲弥(長寿課長補佐兼介護保険係長)、森下亜希子(長寿課介護保険係副主幹)
- 7 出席した策定支援事業所所員
㈱ジャパンインターナショナル総合研究所 東海支社
まちづくりプランナー都築光、まちづくりプランナー西村惇志
- 8 議題内容
(1) 介護予防サービスに関するプラン作成の委託事業所について
(2) 第3次地方分権一括法にかかる基準条例等の制定について
(3) 尾張旭市高齢者保健福祉計画(素案1~4章)について
- 9 会議の要旨
-開会-

事務局 (滝本長寿課長)	<p>本日はお忙しい中、平成26年度第1回尾張旭市介護保険運営協議会にお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。</p> <p>本日は上田副会長様から欠席という連絡を頂いております。瀧山委員につきましては、後ほどいらっしゃると思います。現在13名の委員のご出席を頂いております(後刻瀧山委員到着し、14名の出席)。尾張旭市介護保険運営協議会規則第5条第1項の規定による、定足数に達しておりますので、只今より開会致します。</p> <p>それでは開会にあたりまして、若杉会長より、ご挨拶を賜りたいと思います。よろしくお願ひいたします。</p>
-----------------	--

若杉会長	<p>みなさん、こんにちは。梅雨に入り、東京は大変な豪雨のところもあるようですが、こちらは雨が少ない状況です。農業用水、工業用水、飲料水もそうですが、節水に入っているところもあります。日本の天候は少しおかしくなっているように感じます。</p> <p>今日は平成26年度に入り、初めての尾張旭市介護保険運営協議会です。特に高齢者に関する問題、最近いろいろな面でマスコミを賑わしておりますが、特に、認知症の問題が大きく取り上げられ、いろいろな事例が発生しています。</p> <p>老老介護と言われてきましたが、これだけ高齢者が増えてきますと、病々介護、認々介護などと言われるような、大変な時代になってきています。</p> <p>そんな中、尾張旭市では、積極的に認知症対策に取り組んでいただいております。「あたまの元気まる」など、公費で取り組んでいるのは、非常に珍しいと雑誌にも掲載されました。尾張旭市の65歳以上の高齢化率は23%となり、私共の仕事の役割は、重要になってくると考えています。平成27年から29年にかけての高齢者保険福祉計画も本日の議題となっております。</p> <p>アンケート結果もまとまりましたので、素案の検討に入りたいと思っております。また介護保険制度も改正され、その説明についても事務局に行っていただきます。</p> <p>限られた時間ですが、十分に協議したいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
事務局 (滝本長寿課長)	委員の交替についての報告(2名)
田口委員	<p>瀬戸保健所、健康支援課長の田口と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>尾張旭市は全国的に見ても、健康づくりにとても積極的な市です。あと10年すると尾張旭市も4人に1人が高齢者の時代になりますので、保健センターとの連携、地域包括ケア、介護予防等、協力してやっていきたいと思っております。</p>
玉置委員	<p>民生委員児童委員協議会、高齢者福祉部会に所属いたしております玉置と申します。</p> <p>小林委員の後任としまして、精一杯努力したいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。</p>

－議題－

(1) 介護予防サービスに関するプラン作成の委託事業所について

若杉会長	それでは議事に入ります。本日の議題は3件となっております。まずは「(1) 介護予防サービスに関するプラン作成の委託事業書について」、事務局より説明をお願いいたします。
事務局 (江尻地域包括支援センター所長)	資料1「介護予防支援委託業務に係る指定居宅介護支援事業者(介護予防サービスに関するプラン作成の委託事業者)の新規承認について」の説明
若杉会長	新たに2件の承認が出ております。その件について、ご意見、ご質問はありますか。 ご意見、ご質問がないようですので、介護予防サービスに関するプラン作成の委託事業所については、承認とさせていただきます。

(2) 第3次地方分権一括法にかかる基準条例等の制定について

若杉会長	それでは次の議題「(2) 第3次地方分権一括法にかかる基準条例等の制定について」事務局より説明をお願いいたします。
事務局 (森下長寿課副主幹)	資料2「第3次地方分権一括法にかかる基準条例等の制定について(条例案骨子)」についての説明
若杉会長	介護予防支援事業者言い換えると地域包括支援センターとなりますが、指定してはならない条件として暴力団関連の条項を付け加えること、また、サービス提供に関する記録の保存年限を2年ではなく5年とすること。この2点が独自の基準となっているとのこと。 この点も含めてご意見、ご質問はございますか。 (意見・質問なし) 特にご意見がないようですので、事務局はこのまま事務を進めていただきたいと思います。 9月の市議会で条例案を提出し、来年の4月1日施行ということになると思います。

(3) 尾張旭市高齢者保健福祉計画(素案1～4章)について

若杉会長	それでは次に移ります。議題の「(3) 尾張旭市高齢者保健福祉計画(素案1～4章)について」の説明を事務局よりお願いいたします。
------	---

事務局 (西尾長寿課長 補佐)	資料3「尾張旭市高齢者保健福祉計画」についての説明 資料3-1「1. 介護保険制度の改正案について」の説明
ジャパン総研 (都筑研究員)	資料3、素案2章から4章について説明
若杉会長	ご意見、ご質問はありますか。
丹羽委員	将来的な保険料の算出は行っていますか。平成37年は人口推移が減っており、高齢化率が26.6%ですが、市としては、ここまでの保険料、交付金など、ある程度の予測計画を立てていますか。
事務局 (滝本長寿課長)	<p>第4期の保険料が4,005円、第5期の現在は4,155円です。愛知県下では、57市町のうち11番目に安くなっております。保険料が安い主な理由としては、基金が4億4千万円あったからです。</p> <p>今年も基金を取り崩すので、厳しい保険料の現状であります。ちなみに、保険料が県内で一番高いのは名古屋市で、5,440円。5千円を超えているのは、一宮市が5,125円、津島市が5,181円、高浜市が5,260円です。</p> <p>介護保険簿保険料はサービスの量とも関係してくるので、保険料がこの先いくらになるのかというのは決めがたいところです。</p> <p>今後、介護保険の法改正があり、国の負担の割合がどのようになるのかわかりませんので、現在の財源等、はっきりとお答えできない状況です。</p>
丹羽委員	<p>そういうことではなく、人口は減っていき、高齢者人口は増えていく中で、市はどんな対策をとられていますか。人口を増やす施策はありますか。長久手市は人口が増えているのに、尾張旭市はなぜ増えないのか。逆に言えば、40歳以上の方たちに保険料を払ってもらうのであれば、40歳以上の方たちを増やさなければならない。</p> <p>老人の方々に天寿を全うしていただくためには、施設ももちろん大事であるが、それ以上に費用も大事ではないですか。現在は、基金を取り崩しているため、保険料が少ないということですが、その財源がいつまで続くのか、そのあとはどうするのか、市としてどのような施策を推進していくのか。という対策をしっかりと立てていただきたいということです。</p>
若杉会長	事務局、よろしいですか。

<p>事務局 (若杉健康福祉 部長)</p>	<p>お話のとおりではありますが、尾張旭市が介護予防、健康づくりについて、特色を出せればよいと思っています。今、尾張旭市は健康への取り組みに力を入れています。</p> <p>特にあたまの元気まるなどは、去年一年間でも全国から21の団体が視察に来てくださっています。北海道から九州までの市議会の団体や行政の健康福祉部門も来てくださっています。イギリスの研究者やアジア地域の方も視察に来たことがあります。</p> <p>人口を増やしましょうという話は、以前にも伺っていますが、総合計画にも人口増加に向けた取り組みが記載されており、現実には難しい面もあると思います。</p> <p>介護保険の仕組みとは別に、あたまの元気まるをはじめとした介護予防に積極的に取り組み、健康づくりに取り組んでいきたいと思っています。</p>
<p>若杉会長</p>	<p>総合計画を立てる際にいろいろな意見がありながらも、今後増加していく推計人口を立てたが、その推計人口とこの計画での推計人口は異なっています、何か理由はありますか。</p>
<p>ジャパン総研 (都筑研究員)</p>	<p>総合計画では人口増加に力を入れているということですが、人口推計は施策を行ったと想定し、増加を見込んでいます。しかし現状から推計すると、今後人口は減っていく見込みになっております。保険料の算出にも関係することであるため、現状からの推計人口を採用しました。</p>
<p>若杉会長</p>	<p>介護保険事業計画を策定するうえで、総合計画の人口推計は、考え方が異なるのであまり参考にしなかったということですね。</p>
<p>田口委員</p>	<p>20ページ、21ページのグラフは、高い順から掲載した方が分かりやすいと思います。</p> <p>尾張旭は、認知症の取り組みで、あたまの元気まるのように進んだ取り組みも行っているのですが、数値やデータも掲載してはどうですか。</p> <p>また、「元気まる」など、分かりづらい文言に用語説明をつけるといいのではないのでしょうか。</p> <p>今後の地域包括ケアシステムについてですが、周知や指標の設定は今後行っていく予定ですか。</p> <p>平成22年と平成25年を比較したアンケート結果がありますが、検証は行っていますか。</p>
<p>若杉会長</p>	<p>事務局、よろしいですか。</p>

<p>事務局 (滝本長寿課長)</p>	<p>まず、アンケートについては、報告書を作成しており、前回調査結果と今回の結果の比較を行っていますが、その中で傾向や背景は推測できる部分もありますが、具体的な検証となると難しい面があります。</p> <p>また、地域包括ケアシステムの周知については、計画のダイジェスト版や広報等で周知していきたいと考えています。資料や目標数値はできる限り掲載していく予定です。</p> <p>グラフ等につきましては、ご意見を参考に検討させていただきたいと思います。</p>
<p>玉置委員</p>	<p>細かい語尾などは、もう一度見直しをするということが良いですか。たとえば、過去の事象が現在形になっている箇所もあるので、見直していただきたいです。</p>
<p>事務局 (西尾長寿課長補佐)</p>	<p>はい、見直しさせていただきます。</p> <p>第1章では、国の制度改正に重点を置いた記載がしてある部分が多くなっていますが、市の立場からの表現の仕方等をもう一度精査する予定です。</p> <p>先ほど、田口委員から意見がありましたが、例えば認知症を有する高齢者、要介護認定者のデータ等、市の取り組みについても、より詳しく載せていきたいと思っております。</p>
<p>田口委員</p>	<p>せっかくやってらっしゃるので、図などがあるとよりわかりやすいと思います。</p>
<p>若杉会長</p>	<p>他にありますか。</p> <p>計画としては、4章以降が問題ということですね。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。2025年までに地域包括システムの構築を目指しまして、具体的な施策等、積極的に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>また、保険料の額や施設整備計画も検討していきたいと考えております。</p> <p>計画は今日示していただいた4章から残りは何章ありますか。</p>
<p>事務局 (西尾長寿課長補佐)</p>	<p>章立ては現行の計画と同じくらいになると思います。</p> <p>介護保険サービスの見込み、保険料、施設の整備等ありますが、現段階では、先のごことはまだわかりません。</p>
<p>若杉会長</p>	<p>例年の計画どおりと同じということですね。他によろしいですか。</p> <p>本日の議題は以上ですが、事務局より今後の日程等連絡事項の説明をお願いいたします。</p>

—連絡事項—

事務局 (西尾長寿課長 補佐)	<p>今後の予定ですが、本年度はあと3回実施したいと思います。次回は10月下旬頃、第3回目は12月、第4回目は来年の2月頃を予定しております。</p> <p>計画策定のスケジュールにつきましては、順に素案を作り、12月の運営協議会では、一通り案を固め、12月から、1月にかけてパブリックコメントという形で、市民の方の意見を伺い、それを元に2月に最終案をまとめる予定です。</p> <p>同時進行として介護保険料の推計や施設等の整備計画も検討していきたいと思っております。委員の皆様や事業所の皆様にご協力を賜りたいと思っております。</p>
-----------------------	---

—閉会—

若杉会長	<p>これもちまして平成26年度第1回尾張旭市介護保険運営協議会を終了させていただきます。本日は長時間にわたり、ありがとうございました。</p>
------	--

上記会議の顛末を記載し、相違ないことを証明するためここに署名する。

委員

川口 俊一 

